

研究課題“ストレスチェックの休職等予測モデルの作成およびそれに関連する解析”に関する情報公開

1. 研究の対象

名古屋大学の教職員で2016年度～2018年度にストレスチェックを受けた方のうち以下に該当する方

- ① 2年以内に病気による休職等を来した方
- ② ①に該当する方と、同性、同職種、同職位、年齢差2歳以内で職員番号が最も近い方（それぞれ2名程度）

2. 研究目的・方法・研究期間

労働者のうつ病や自殺を防止するため、ストレスの状態を確認して未病の段階で対策を講ずることができるよう、平成28年度から常時雇用される教職員に対してストレスチェックが義務づけられました。国家レベルの大きな施策ですが、その有用性はまだ確認されていません。

そこで、全国の大学の産業医が協力して、ストレスチェックがその後の在職死亡や休職とどのように関連しているのかを検証することになりました。労働安全衛生法下の労働安全衛生規則では、産業医の職務として労働者の健康障害の再発を防止するための調査を行うことになっていますが、個々の大学では統計解析に足る例数に達しないため、全国レベルで集約して科学的な手法を用いて解析するものです。

調査の対象者は病気休職等を来した教職員とその方に性や年齢などを対応させてランダムに抽出した健常職員（両者合わせて各大学で数人～数十人程度）です。また、調査対象とするストレスチェック等は2016～2018年度、休職等は2016～2019年度、また、データの収集期間は2020年度末までです。

法定業務として行うストレスチェックの意義を科学的に検証することで、その実施根拠を明確にするとともに、結果の有効活用が進む可能性があります。ご理解をお願いいたします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

直近のストレスチェック、健康診断のデータ、等（氏名や職員番号など個人が特定できる部分は削除する）

4. 外部への試料・情報の提供

研究事務局（京都大学環境安全保健機構附属健康科学センター）へのデータの提供は、郵便あるいは宅配便で、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。送付された時点で対応表は破棄します。

5. 研究組織

北海道大学・保健センター長・橋野 聡
東北大学環境安全推進センター・教授・黒澤 一
東京大学環境安全本部・安全衛生管理部長・大久保靖司
名古屋大学・総合保健体育科学センター副センター長・石黒 洋
京都大学・環境安全保健機構附属健康科学センター長・川村 孝
大阪大学キャンパスライフ健康支援センター・教授・守山敏樹
九州大学キャンパスライフ・健康支援センター長・丸山 徹
慶応大学保健管理センター・教授・森 正明

本学の研究組織

研究責任者：健康栄養医学（総合保健体育科学センター）・教授・石黒 洋
研究分担者：健康栄養医学（総合保健体育科学センター）・准教授・山本明子

「既存試料・情報の提供のみを行う機関」は、公益社団法人全国大学保健管理協会に加入する全国の大学および短期大学（507校）のうち、協力が得られた大学となる。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。但し、研究事務局へデータが送付された時点で対応表は破棄しますので、それ以降は研究対象から除外することはできません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒464-8601 名古屋市千種区不老町（TEL：052-789-3962）

名古屋大学総合保健体育科学センター

（名古屋大学大学院医学系研究科健康栄養医学）

石黒 洋（研究責任者）

研究代表者：

京都大学・環境安全保健機構附属健康科学センター長

（京都大学大学院医学系研究科・予防医療学・教授）

川村 孝